

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2015年第25週
(6月15日～6月21日)

- * 2015年6月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「三類感染症の最近の動向」も掲載しています。
- * 今週は病原体検査情報の掲載をお休みします。

平成27(2015)年6月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2015年25週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		22週	23週	24週	25週	年累計	25週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	82	100	74	80	1,744	378	11,064
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ							3
	細菌性赤痢		4	3	1	29	3	66
	腸管出血性大腸菌感染症	5	5	11	16	61	93	747
	腸チフス					7		20
	パラチフス	1			1	5	2	22
四類	E型肝炎		2		1	16	4	91
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1	3	2	2	27	4	137
	エキノコックス症					1		8
	黄熱							
	オウム病							4
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}							24
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱				1	5	1	8
	つつが虫病					1	1	65
デング熱		2	1	2	31	3	110	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		22週	23週	24週	25週	年累計	25週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						7	56
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		3
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア		2		1	7	2	15
	野兔病							1
	ライム病							3
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2	1	4	2	44	36	547
レプトスピラ症					5		6	
ロッキー山紅斑熱								
2015/6/24集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 80件 肺結核 49件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 17件、疑似症 4件、年齢は10歳未満 1件、20代 7件、30代 5件、40代 22件、50代 7件、60代 11件、70代 13件、80代 9件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 77件、インドネシア 1件、国内又は中国 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はソンネ、年齢は10歳未満、推定感染地はインドネシア、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 16件 患者 14件、無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO26 VT1 3件、O111 VT1・VT2 1件、O121 VT2 1件、O157 VT1・VT2 3件、O157 VT2 4件、O157 VT型不明 2件、O166 VT2 1件、血清型不明VT型不明 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、10代 3件、20代 4件、30代 3件、40代 1件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 16件、推定感染経路は経口感染 7件、接触感染 3件、不明 6件であった。

パラチフス 1件 患者、年齢は20代、推定感染地はネパール、推定感染経路は経口感染であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 無症状病原体保有者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

A型肝炎 2件 患者 2件、年齢は30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 1件、ミャンマー 1件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、経口感染 1件であった。

チクングニア熱 1件 患者、年齢は70代、推定感染地はソロモン諸島であった。

デング熱 2件 患者 2件、病型はデング熱 2件、血清型は2型 1件、4型 1件、年齢は10代 1件、30代 1件、推定感染地はタイ 1件、フィリピン 1件であった。

マラリア 1件 患者、病型は熱帯熱、年齢は40代、推定感染地はパプアニューギニアであった。

レジオネラ症 2件 病型は肺炎型 2件、年齢50代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 1件であった。

※ 第24週該当分として〔四類〕レジオネラ症 1件の追加報告があった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2015年25週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		22週	23週	24週	25週	年累計	25週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	5	6	6	5	91	13	502
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	3	3	2	2	28	3	116
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *2	2	2	3	4	72	11	590
	急性脳炎 *1	2				26	5	255
	クリプトスポリジウム症			1		3		8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				10	2	80
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1			1	34	7	229
	後天性免疫不全症候群	10	10	6	9	196	19	643
	ジアルジア症	1		1		9	1	36
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		13	2	122
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1				6		18
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	6	5	7	185	21	1,329
	水痘(入院例に限る) *2		3	2	2	23	1	139
	先天性風しん症候群							
	梅毒	18	19	24	25	428	36	1,003
	播種性クリプトコックス症 *2		1	2		6		57
	破傷風					1	2	46
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1	1	25
	風しん			1	1	17	5	91
麻しん	1	1		1	9	2	24	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	1				4		15	

2015/6/24集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2014年9月19日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

（五類感染症）

アメーバ赤痢 5件 病型は腸管 5件、年齢は20代 1件、40代 2件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、サモア又はインドネシア 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、経口感染 1件、不明 2件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、不明 1件、B型肝炎ワクチン接種歴は無し 2件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4件 患者 4件、病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、シトロバクター属菌 1件、大腸菌 1件、緑膿菌 1件、年齢は20代 1件、80代 3件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は以前からの保菌 2件、院内感染 1件、医療器具関連感染 1件(尿路カテーテル)、90日以内の海外渡航歴は無し 4件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清型はA群、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 9件 無症候キャリア 7件、その他 2件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 3件、30代 4件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 7件、アラブ首長国連邦 1件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 4件、異性間性的接触 2件、両性間性的接触 2件、同性間性的接触又は静注薬物使用 1件であった。うち1件は今週、梅毒も届出されている。

侵襲性肺炎球菌感染症 7件 血清型は検査未実施 7件、年齢は40代 1件、50代 2件、60代 1件、80代 1件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 6件、国内又はフィリピン 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は無し 6件、不明 1件であった。

水痘(入院例) 2件 検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は接触感染 1件、院内感染 1件、水痘ワクチン接種歴は無し 2件であった。

梅毒 25件 早期顕症梅毒Ⅰ期 3件、早期顕症梅毒Ⅱ期 14件、晩期顕症梅毒 1件、無症候梅毒 7件、年齢は20代 7件、30代 9件、40代 5件、50代 3件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 23件、中国 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は性的接触 23件(同性間 11件、異性間 11件、性別不明 1件)、不明 2件であった。うち1件は今週、後天性免疫不全症候群も届出されている。

風しん 1件 検査診断例、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

麻しん 1件 臨床診断例、年齢は5歳未満、推定感染地はマレーシア、推定感染経路は不明、麻しん含有ワクチン接種歴は無しであった。

※ 第24週該当分として〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2015年25週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2015年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		22週	23週	24週	25週		
小児科	RSウイルス感染症	15	9	17	14	261	264
		0.06	0.03	0.06	0.05		
	咽頭結膜熱	243	229	200	192		
		0.93	0.87	0.76	0.74		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,107	1,043	1,077	946		
		4.24	3.97	4.10	3.62		
	感染性胃腸炎	1,911	1,836	1,957	1,737		
		7.32	6.98	7.44	6.66		
	水痘	171	174	125	159		
		0.66	0.66	0.48	0.61		
	手足口病	270	351	489	721		
		1.03	1.33	1.86	2.76		
	伝染性紅斑	313	240	330	331		
		1.20	0.91	1.25	1.27		
突発性発しん	219	191	210	201			
	0.84	0.73	0.80	0.77			
百日咳	10	9	7	13			
	0.04	0.03	0.03	0.05			
ヘルパンギーナ	56	86	101	156			
	0.21	0.33	0.38	0.60			
流行性耳下腺炎	68	87	80	78			
	0.26	0.33	0.30	0.30			
川崎病 *1	3	5	4	3			
	0.01	0.02	0.02	0.01			
不明発しん症 *1	29	26	32	23			
	0.11	0.10	0.12	0.09			
インフル エンザ	インフルエンザ *2	36	34	8	21	413	419
		0.09	0.08	0.02	0.05		
眼科	急性出血性結膜炎		1		2	39	39
			0.03		0.05		
	流行性角結膜炎	18	19	25	21		
		0.47	0.49	0.64	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	2	2			25	25
		0.08	0.08				
	無菌性髄膜炎	1		2	1		
		0.04		0.08	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	7	6	5	7		
		0.28	0.24	0.20	0.28		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1			1			
	0.04			0.04			
感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4		2	1				
		0.08	0.04				
インフルエンザ入院			2				
			0.08				

2015/6/25集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 伝染性紅斑の定点当たり報告数は微増だが、東京都の警報レベルを超えている。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2015年25週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	6	2		29	3	3		9		1	
6～11か月	4	17	4	138	7	61	3	64	1	16	1
1歳	3	77	36	255	7	215	17	95		42	
2歳	1	24	45	148	12	149	20	23	3	35	6
3歳		20	111	157	15	122	45	5	1	21	4
4歳		16	136	168	29	68	51	1		11	20
5歳		9	117	124	28	48	49	3	1	13	10
6歳		9	118	105	19	21	46			6	14
7歳		2	93	82	13	6	27		2	1	6
8歳		3	79	99	11	7	36		2	3	6
9歳		2	50	72	7	8	11			2	4
10～14歳		7	94	152	7	8	18	1	2	4	6
15～19歳			10	31	1		1			1	
20～29歳		4	53	177		5	7		1		1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	14	192	946	1,737	159	721	331	201	13	156	78
先週比	-3	-8	-131	-220	34	232	1	-9	6	55	-2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		1									
6～11か月	1	5			2						
1歳	1	9			1						
2歳	1	2	3								
3歳		1	1	1							
4歳		2	5					1			
5歳		1	2		1						
6歳			1		1			1			
7歳		1	4					1			
8歳			1								
9歳								1			
10～14歳				1	2			1			
15～19歳			1		2			1			
20～29歳		1			2				1		
30～39歳			2		3						
40～49歳			1		4			1			
50～59歳							1				
60～69歳					2						
70～79歳					1						
80歳以上											
合計	3	23	21	2	21		1	7	1		
先週比	-1	-9	13	2	-4		-1	2	1	-1	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2015年25週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田						1.67	1.33				
中央区		1.33	2.33	6.00		5.33		1.33		1.00	0.33
みなと	0.17	2.50	3.00	4.17	0.67	2.17	0.33	0.50		0.50	0.33
新宿区	0.13		3.13	3.38	0.25	2.00	0.13	0.88		0.50	0.13
文京		0.25	1.25	2.75		2.75	0.25	1.25		0.50	0.25
台東		2.75	1.75	13.00	0.50	2.75	2.75	1.50		0.25	0.25
墨田区		0.60	4.40	2.20	0.60	2.00	1.00	0.60		0.60	1.20
江東区	0.44	0.67	4.78	10.00	0.56	6.11	1.22	1.78	0.33	1.00	0.78
品川区		0.38	2.13	7.00	0.25	2.50		0.25		0.63	
目黒区		0.20	3.80	7.00	0.20	3.80		0.40		1.20	
大田区		2.54	5.23	10.08	0.62	2.46	1.46	0.62		0.92	0.08
世田谷		0.88	5.88	6.06	1.56	2.69	0.63	0.56		0.75	0.19
渋谷区		0.75	1.50	3.75		1.25	0.50	1.00			
中野区			1.00	11.83	0.17	4.67	0.33	0.50		0.67	
杉並		0.27	1.09	4.91	0.09	1.91	0.36	0.45		0.18	0.09
池袋		0.25	0.75	1.25		2.50				0.25	0.25
北区			2.14	4.00	0.71	3.14	0.86	0.86		0.86	0.14
荒川区		2.00	4.25	7.00	0.50	2.75	4.50	1.25		1.25	
板橋区		0.10	1.50	3.50	0.60	1.70	2.00	0.50		0.40	1.00
練馬区		0.54	4.46	4.00	0.62	2.92	2.38	0.46		0.38	0.69
足立		0.46	3.15	5.92	0.23	2.62	2.31	0.92		0.31	0.31
葛飾区		0.63	2.50	9.50	0.75	2.25	0.25	0.50		0.38	
江戸川	0.18	1.73	2.55	7.45	0.36	5.27	0.55	0.82	0.73	0.45	0.45
八王子市	0.09	1.00	5.45	12.27	1.18	4.64	1.18	1.27	0.18	0.45	0.36
町田市			5.75	10.63	0.88	2.25	0.88	1.00		0.63	0.63
西多摩		0.63	1.88	6.75	0.25	2.00	0.38	0.88		0.50	0.38
南多摩		0.78	3.89	4.00	0.44	2.22	3.00	0.67		0.44	0.33
多摩立川	0.07	0.07	4.29	7.79	0.36	1.21	1.86	0.86		0.43	0.07
多摩府中	0.20	0.35	3.20	6.00	1.10	2.25	2.85	1.00		1.20	0.05
多摩小平		1.13	7.93	8.13	1.20	2.73	0.87	0.67		0.60	0.47
島しょ			1.00								
東京都	0.05	0.74	3.62	6.66	0.61	2.76	1.27	0.77	0.05	0.60	0.30

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田	0.33										
中央区					2.00						
みなと			0.22								
新宿区	0.13	0.25					0.50	1.00			
文京											
台東											
墨田区			0.25								
江東区					2.00						
品川区			1.17								
目黒区		0.40									
大田区		0.31			2.00						
世田谷		0.13			1.00			0.50			
渋谷区					2.00			2.00			
中野区		0.33									
杉並					2.00						
池袋								1.00			
北区											
荒川区		0.50									
板橋区		0.10		1.00					1.00		
練馬区		0.08									
足立					1.50						
葛飾区		0.13									
江戸川					0.50						
八王子市		0.09									
町田市		0.25									
西多摩											
南多摩											
多摩立川											
多摩府中	0.05	0.10	0.10		1.00						
多摩小平		0.07						0.50			
島しょ											
東京都	0.01	0.09	0.05	0.05	0.54		0.04	0.28	0.04		

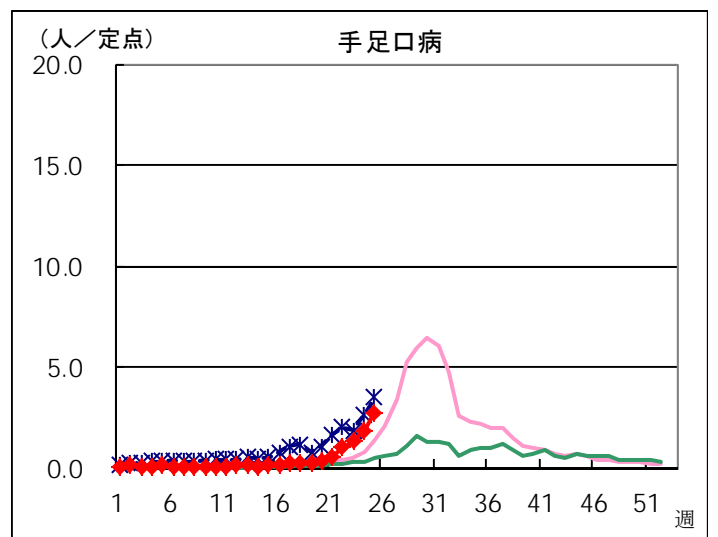
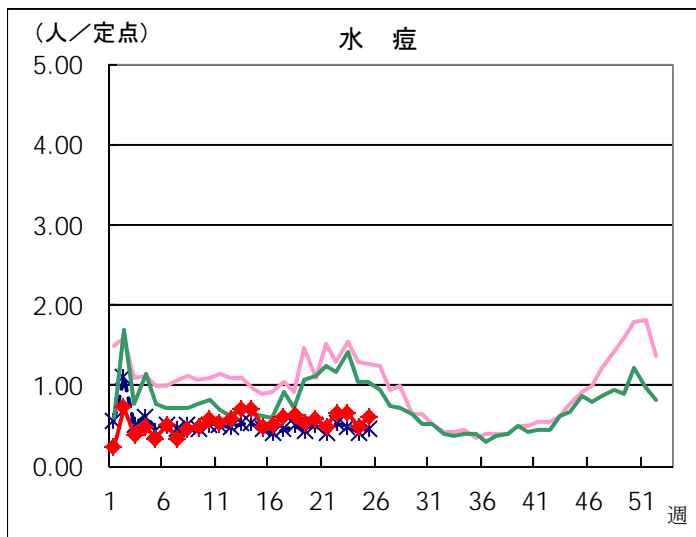
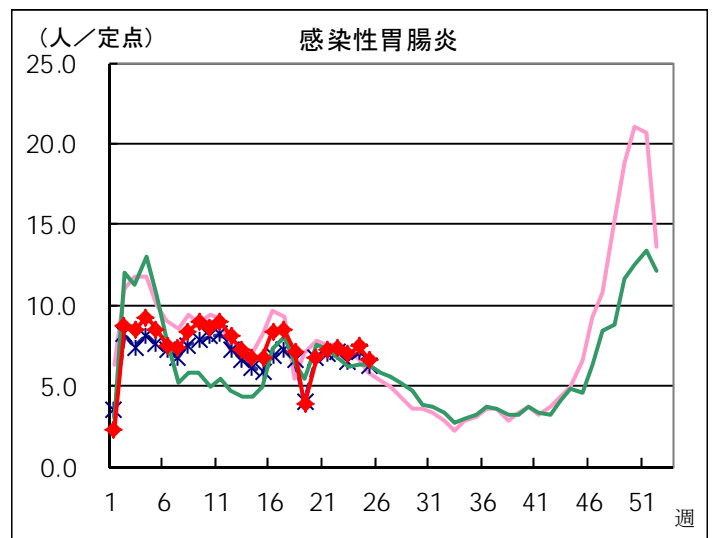
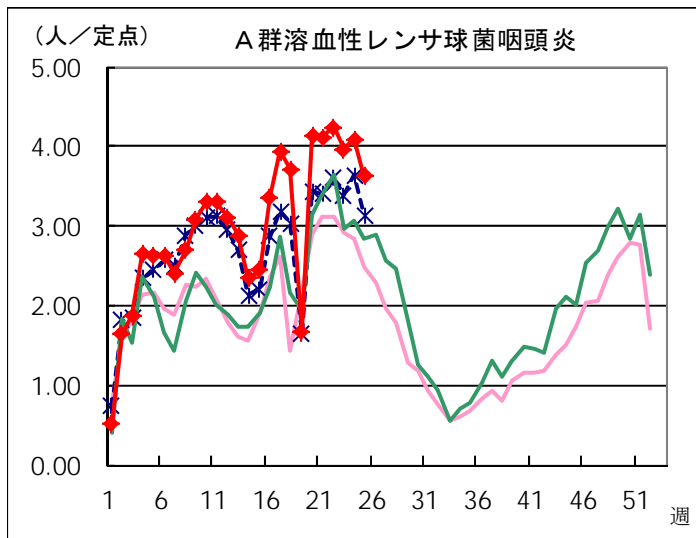
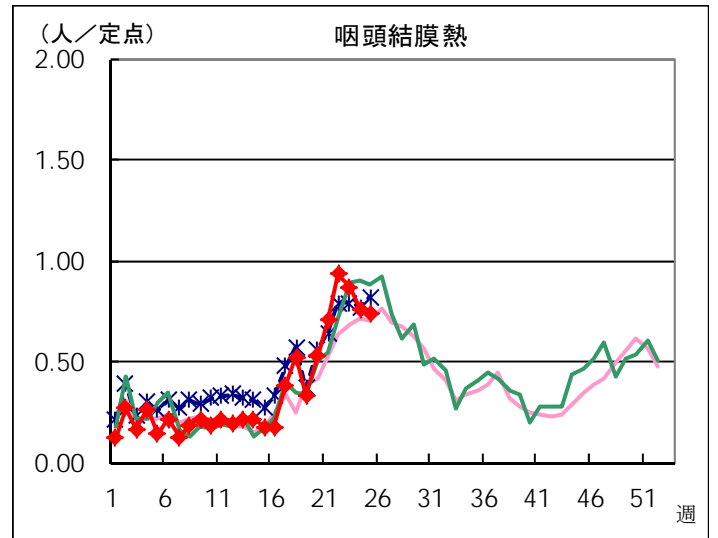
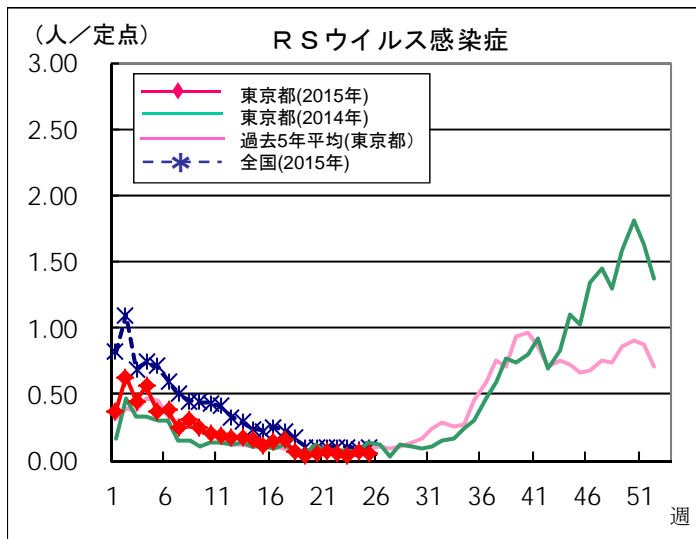
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2015年25週

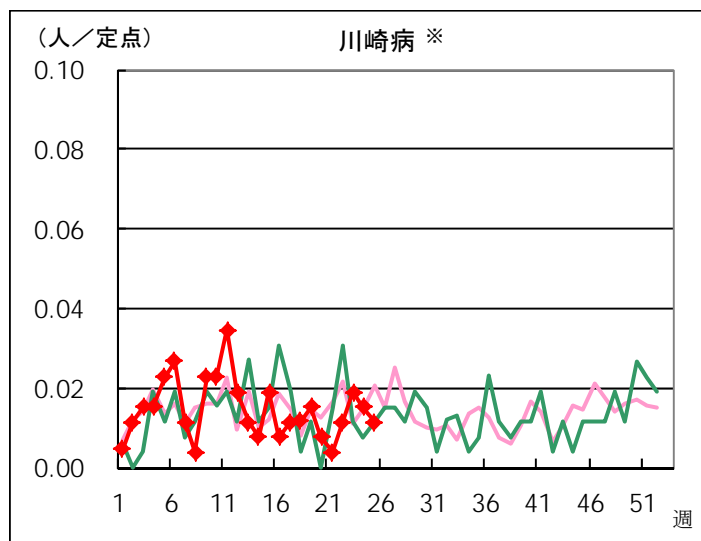
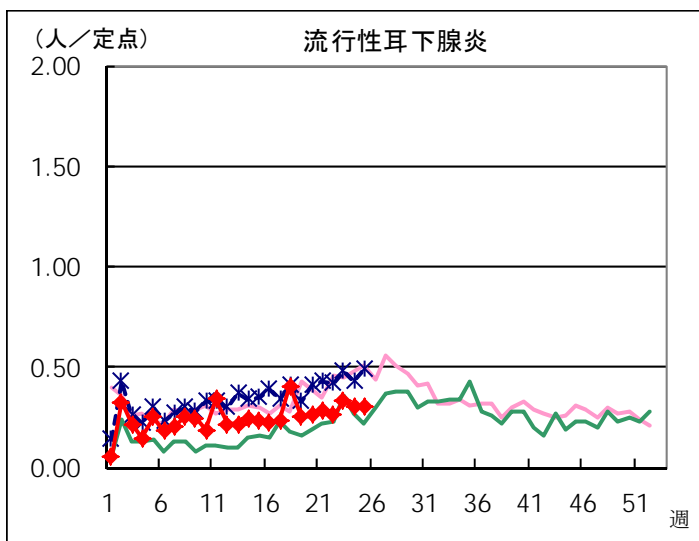
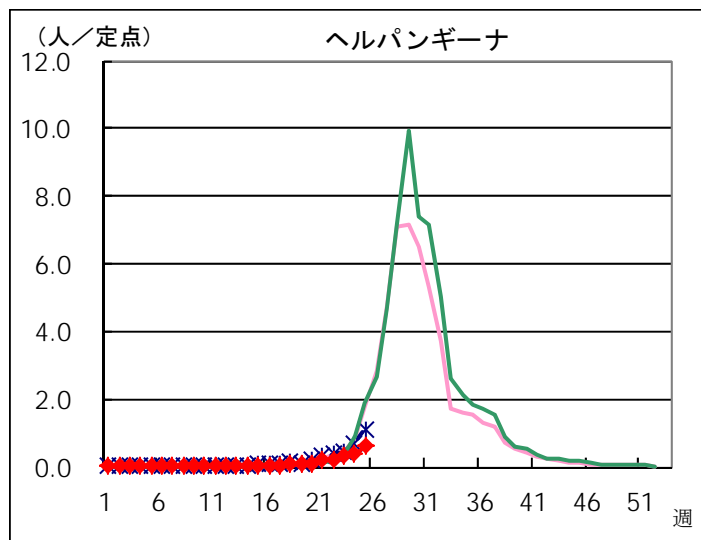
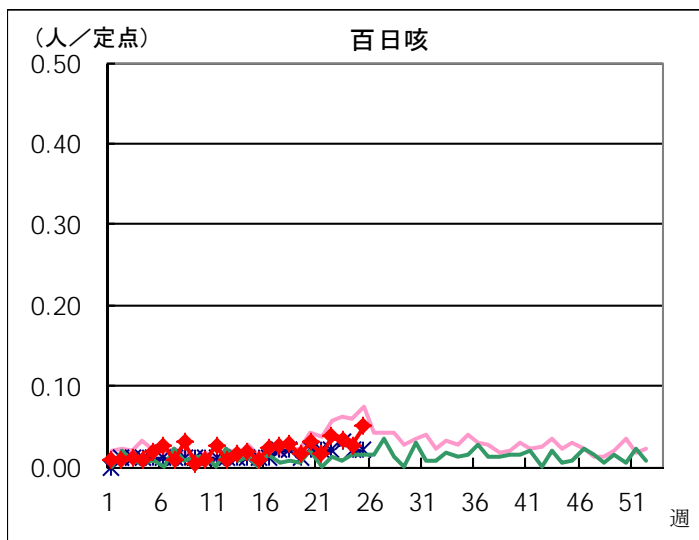
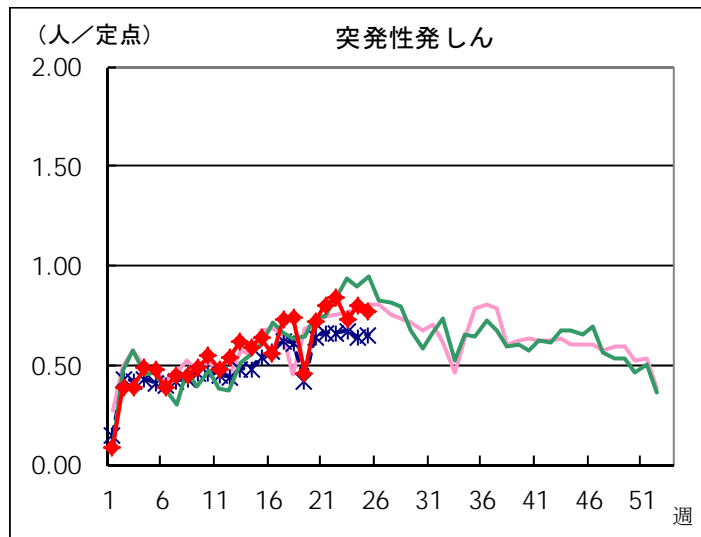
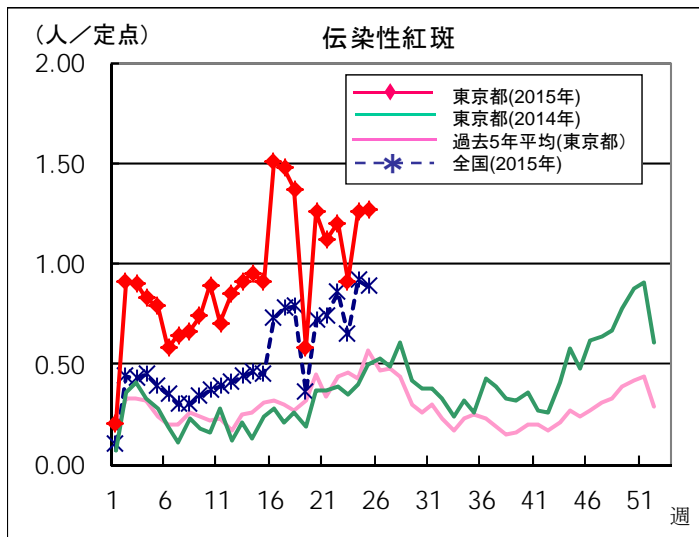
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田						5	4				
中央区		4	7	18		16		4		3	1
みなと	1	15	18	25	4	13	2	3		3	2
新宿区	1		25	27	2	16	1	7		4	1
文京		1	5	11		11	1	5		2	1
台東		11	7	52	2	11	11	6		1	1
墨田区		3	22	11	3	10	5	3		3	6
江東区	4	6	43	90	5	55	11	16	3	9	7
品川区		3	17	56	2	20		2		5	
目黒区		1	19	35	1	19		2		6	
大田区		33	68	131	8	32	19	8		12	1
世田谷		14	94	97	25	43	10	9		12	3
渋谷区		3	6	15		5	2	4			
中野区			6	71	1	28	2	3		4	
杉並		3	12	54	1	21	4	5		2	1
池袋		1	3	5		10				1	1
北区			15	28	5	22	6	6		6	1
荒川区		8	17	28	2	11	18	5		5	
板橋区		1	15	35	6	17	20	5		4	10
練馬区		7	58	52	8	38	31	6		5	9
足立		6	41	77	3	34	30	12		4	4
葛飾区		5	20	76	6	18	2	4		3	
江戸川	2	19	28	82	4	58	6	9	8	5	5
八王子市	1	11	60	135	13	51	13	14	2	5	4
町田市			46	85	7	18	7	8		5	5
西多摩		5	15	54	2	16	3	7		4	3
南多摩		7	35	36	4	20	27	6		4	3
多摩立川	1	1	60	109	5	17	26	12		6	1
多摩府中	4	7	64	120	22	45	57	20		24	1
多摩小平		17	119	122	18	41	13	10		9	7
島しょ			1								
東京都合計	14	192	946	1,737	159	721	331	201	13	156	78

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田	1										
中央区					2						
みなと			2								
新宿区	1	2					1	2			
文京											
台東											
墨田区			2								
江東区					2						
品川区			14								
目黒区		2									
大田区		4			4						
世田谷		2			2			1			
渋谷区					2			2			
中野区		2									
杉並					2						
池袋								1			
北区											
荒川区		2									
板橋区		1		2					1		
練馬区		1									
足立					3						
葛飾区		1									
江戸川					1						
八王子市		1									
町田市		2									
西多摩											
南多摩											
多摩立川											
多摩府中	1	2	3		3						
多摩小平		1						1			
島しょ											
東京都合計	3	23	21	2	21		1	7	1		

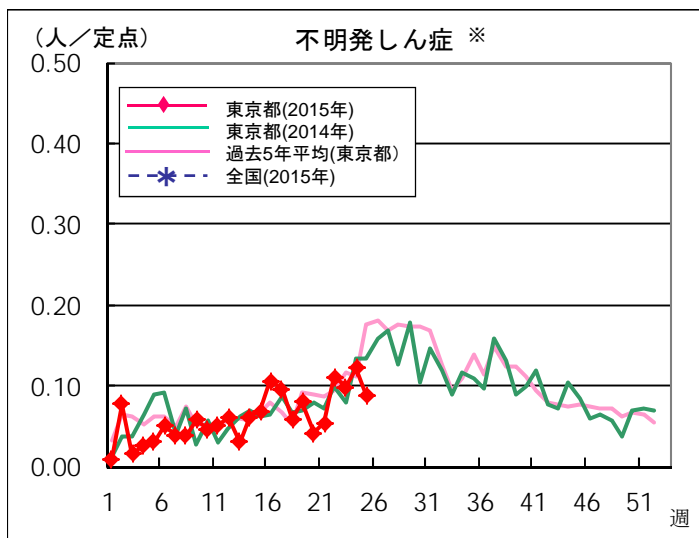
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2015年25週 現在)

◆ 小児科定点



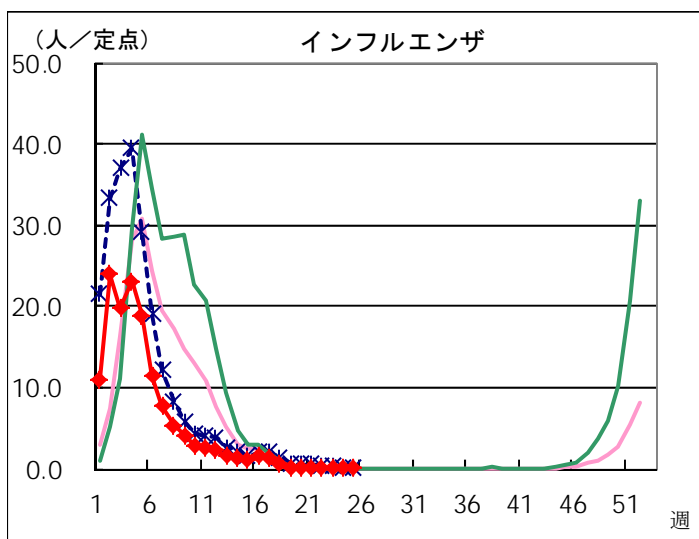


※ 東京都独自対象疾患

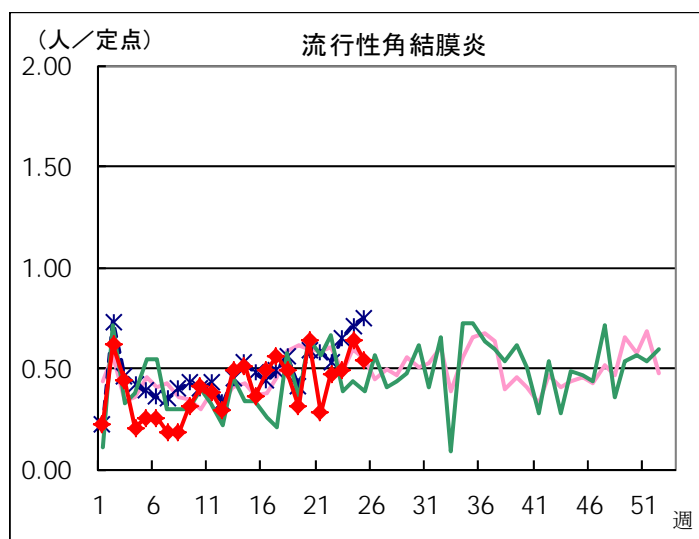
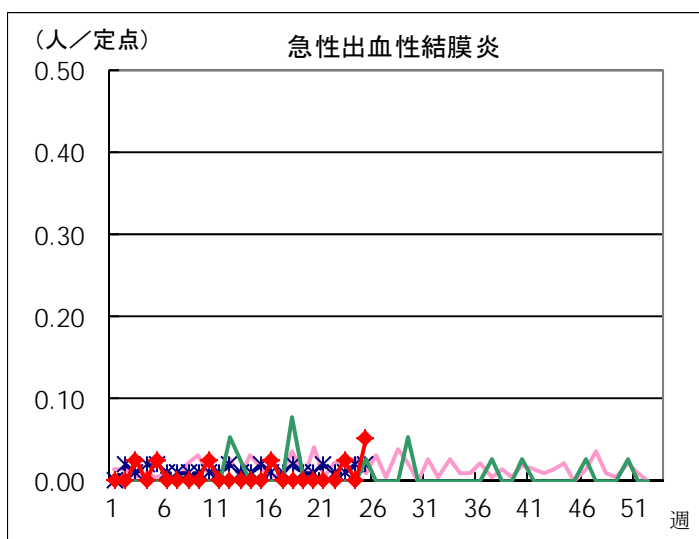


※ 東京都独自対象疾患

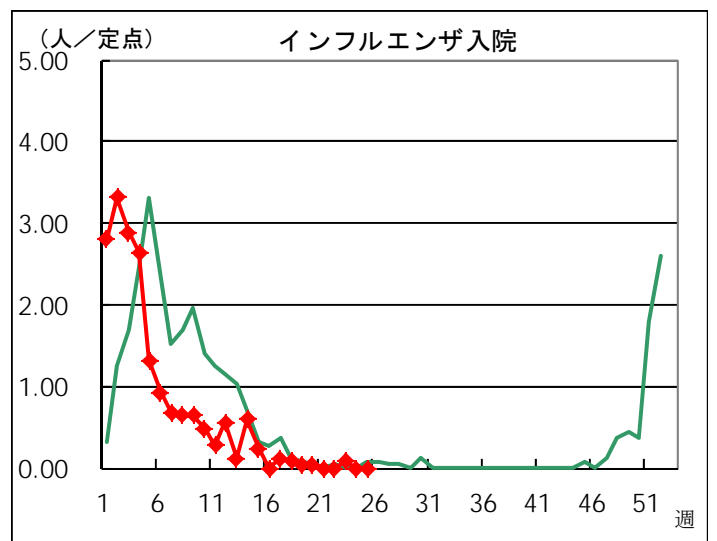
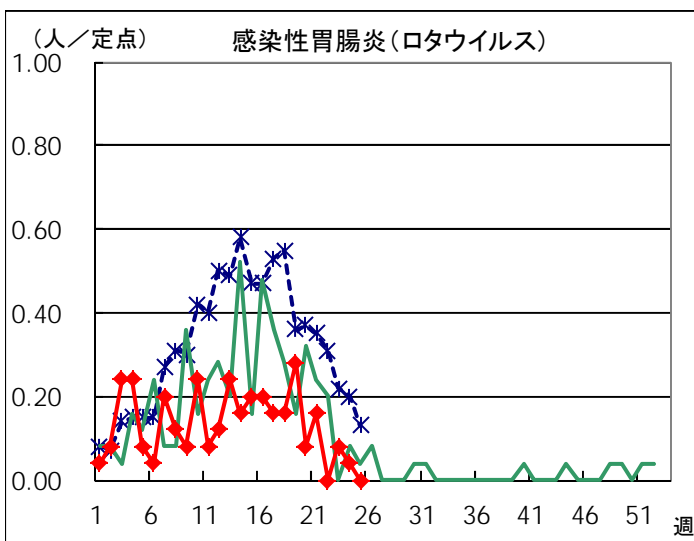
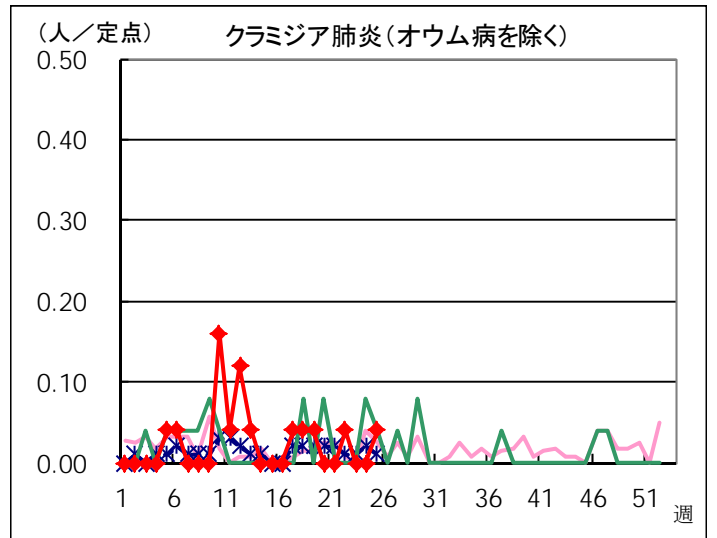
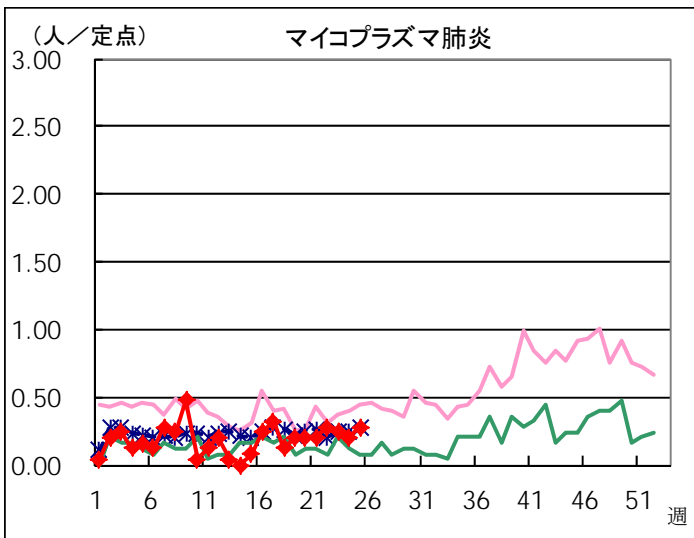
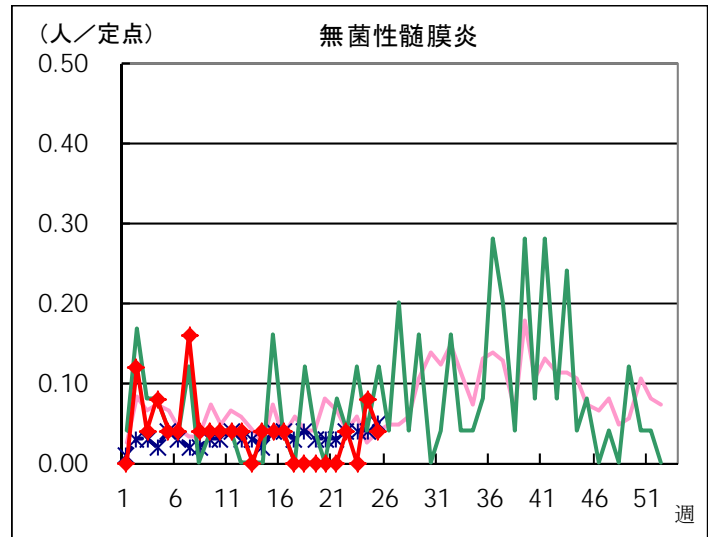
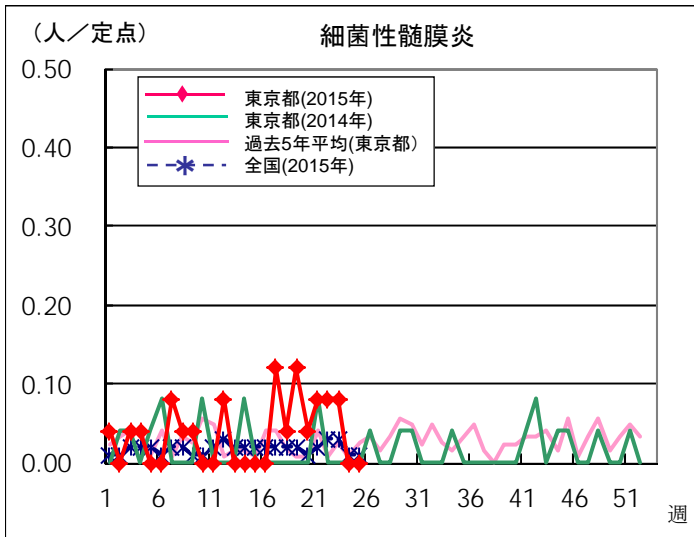
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



<感染症豆知識>

三類感染症の最近の動向

感染症法上、三類感染症はコレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフスの5疾患であり、保健所に届出があった場合、食品取扱者等の就業制限や消毒等の対物措置が行われる。国外で感染するものも多く、渡航前健康相談による啓発が重要である。

コレラの報告数は、都内で年間0～3件と少ない。

細菌性赤痢は、都内の年間報告数は例年60～80件だったが、2013年、2014年は40件前後と少なめであった。国内感染はこのうち20%～40%を占めるが原因不明のことが多い。

腸管出血性大腸菌感染症は、生食用食肉の規格基準が設定された2011年は報告数が減少し、都内では前年より80件程度少ない258件だったが、2013年以降は350件以上に再び増加している。飲食店における食中毒は毎年のように発生しており、保育施設等における集団発生もみられる。

腸チフスは、以前は都内で年間10数件程度の報告で、ほとんどが国外感染であったが、2013年は23件、2014年は27件と増加し、うち国内感染例が半数以上を占めていることに注意が必要である。特に2014年は都内飲食店における食中毒事例が発生し、従業員の保菌者1名を含む8件の関連報告があった。除菌をきちんとしておかないと生涯にわたって保菌者になる可能性があるため、治療後の確認検査が重要である。

パラチフスは、都内の年間報告数は10件程度で、ほとんどが国外感染である。

(文責 東京都健康安全研究センター 阿保 満)